

使った水はどこ行くの？



▲日本下水道協会マスコットキャラクター「スイスイ」くん

私たちは毎日、一人あたり平均ペットボトル(2ℓ)約150本分の水を使っています。では台所やお風呂、トイレで使い汚れた水(汚水)はどこへ行き、どうやってきれいになっているのでしょうか？

今回は、汚水のゆくえや私たちが水を使う上での心がけについて学んだことを紹介します！

私たちと下水

私たちが家庭で使った水は、汚水として排水口から下水道管へ流れます。下水道管は雨水用と汚水用に分かれていて、雨水は下水道管から直接猪名川へ流れます。また汚水は一度下水処理場へ行き、浄化してから猪名川へ流します。

下水処理場ができる前、家庭排水はほとんど下水処理されないまま猪名川に流しており、急激な都市化の影響などにより、悪臭を放つ猪名

川の汚染が深刻な問題となっていました。そこで猪名川下流に「猪名川流域下水道原田処理場(以下、原田処理場)」ができ、下水は適切に処理されるようになりました。今では、猪名川流域8市町(猪名川町・川西市・宝塚市・伊丹市・大阪府豊能町・箕面市・池田市・豊中市)のうちの猪名川周辺地域約77万人分の下水と工場排水などをきれいにし、猪名川へ放流しています。

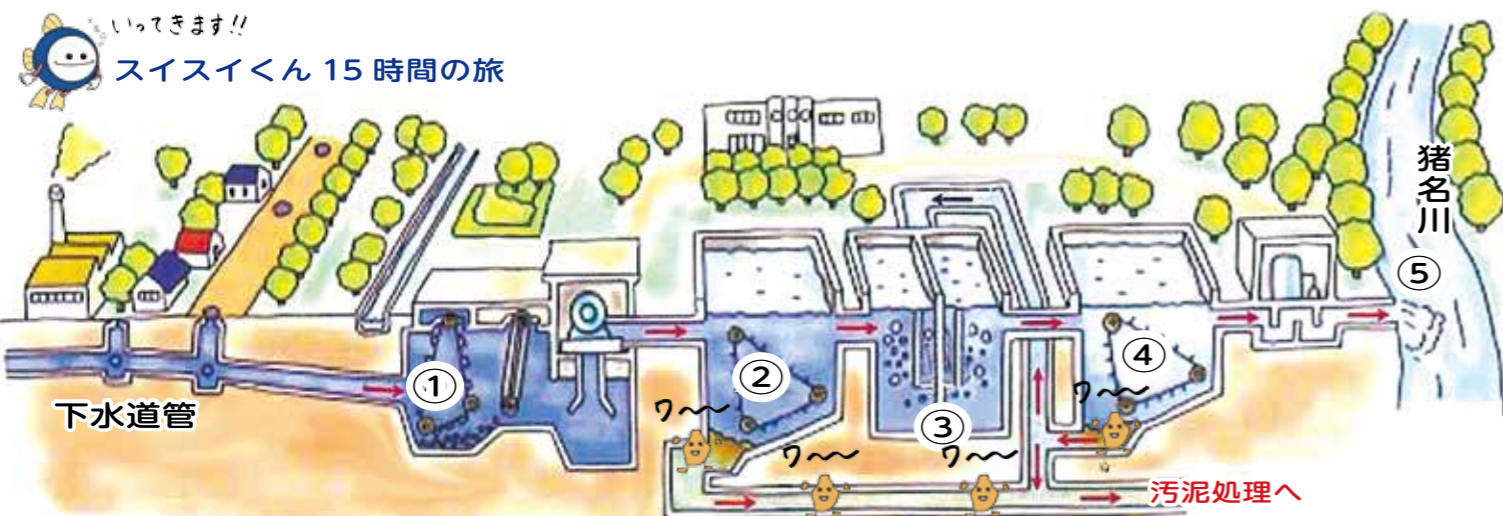
どこにあるの？原田処理場！

原田処理場は、大阪国際空港の南側の豊中市にあります。予約をすれば誰でも見学できるようなので、特派員もさっそくお邪魔しちゃいました！！

【問合せ】上下水道課 (☎ 766 - 8716)
原田処理場 (☎ 06 - 6841 - 1100)

原田処理場ってこんなところ！ ～下水処理のしくみ～

オーラズマでマークの写真をから動画を見よう！詳細はこちら→



- ①沈砂池
ようこそ！ここで大きなゴミや砂を取り除きます。
- ②最初沈殿池
沈砂池で取れなかった小さいゴミ(汚泥)を時間をかけて沈め、取り除きます。(約3時間)
- ③反応タンク
空気をたくさん送ることで微生物の働きが活発になり、たくさんの汚れを食べて水をきれいにします。(約7時間)
- ④最終沈殿池
汚れを食べた微生物は底に沈み(汚泥)、上澄みのきれいな水は消毒設備へ送られます。(約5時間)
- ⑤消毒設備
さようなら！塩素で消毒し、猪名川へ放流します。

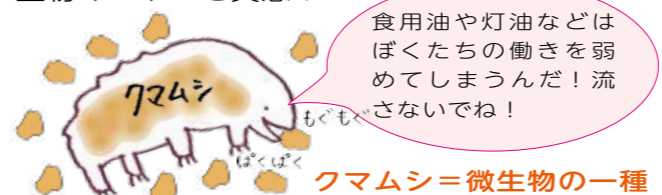


下水処理のえっ！？ほんま！？

原田処理場では、日々の生活の中で知ることのできないことがわかって、ビックリの連続でした。

下水処理は微生物が主役です！

下水をきれいにしてくれるのは、自然界に生きている微生物!! 自然に返すものだから、人工のものではなく自然の力で浄化しているのですね！どんどんきれいになっていく水を見て微生物のパワーを実感！



クマムシ=微生物の一種

エコなシステム汚泥処理!!

下水処理で発生した汚泥は、タンクに入れて温めるとガスが発生し、量が約半分になります。これを脱水して焼却します。この時に発生したガスは焼却のための燃料や発電に使います。さらに焼却や発電で発生した熱は、タンクを温めるために再利用します。無駄がない工程にビックリ!!



「トイレに流せる…」は「水に溶ける」ではない!?

清原さん「トイレに流せる」と書いてあっても、「溶ける」とは限りません。排水口や便器から見えなくなったら流せたと考えてしまいますが、溶けないまま処理場に流れつければ機械が壊れる



原因にもなりますので、水に溶けないものは流さなくてください。

▲ウェットティッシュ(左)とトイレットペーパー(右)を水に入れたら、ウェットティッシュは溶けませんが、トイレットペーパーは溶けます。



～編集後記～

いつも特派員がトイレ掃除で流しているシートには、「トイレットペーパーと同じ溶けやすさ」と書いてあり、ひと安心。取材後は、流してはいけないものを流していないか、気を配るようになりました。食器の油汚れもふきとってから洗うなど少しでも汚れたものを取り除き、使う水の量も減らすよう行動にも変化が！私たちの環境を守ってくれている下水道や処理場に負担をかけない行動を心がけたいと思いました。



※原田処理場(パノラマ写真)

体育の日！スポーツの秋を満喫！！



▲10月10日、B&G 海洋センターでアクアフェスティバルを開催しました。着衣水泳では、いざという時の水中での身の安全を守る方法などを学びました。親子フラダンス教室では、ハワイアン音楽に合わせて笑顔で身体を動かしました。

▲10月10日、スポーツセンターで第21回スポーツ祭を開催しました。屋外でペタンク、グラウンドゴルフ、屋内ではスロージョウロウが行われ、秋空の下、参加者はそれぞれのスポーツを楽しみました。



おいもさん大量！！

文化の秋！それぞれが日頃の成果を発揮

▶9月23日～10月30日は猪名川町文化月間。9月23～25日に開催の町展に訪れた人は、力作ぞろいの作品の鑑賞を楽しみました。10月15日には文化体育館で「第1回いな！いながわ合唱祭」に約700人の観客が訪れ、心地よい声音に耳を傾けました。



▲10月13日、猪名川保育園の子どもたちが芋ほりを楽しみました。収穫したさつまいもはどれも育ちがよく、子どもたちは力を合わせて大きな芋を掘りあげました。



秋晴れのもと、飛び交う笑顔とハッスルプレイ！

▶10月19日、老人クラブ連合会がグラウンドゴルフ大会を開催。200人以上の参加者は、夏のような暑さの中、元気いっぱいプレイしました。会場では「赤い羽根共同募金70周年」を記念したポスター展示や健康体操なども行われました。



五穀豊穡願い、各地で秋祭り！！



広根地区獅子舞

▲10月15日、広根地区では17年間途絶えていた獅子舞が地区内の青年たちの力で復活。後世に伝えたいとの思いを込めた舞は、地域住民の心にとっかかりと届きました。



杉生・西畑練り込み（町指定無形民俗文化財）

▲10月14・15日、杉生・西畑地区で行われた「練り込み」。月夜の下、地域の子もたちが時代衣装に身を包み地域を練り歩いた後は、太鼓に合わせて八坂神社で「忠臣蔵」を披露しました。

ふおと にゅ～す

四地区合同秋祭り



▲10月9日、北田原、南田原、北野、紫合の4地区が五穀豊穡と地域活性化を願い、合同で秋祭りを開催しました。それぞれの地区の人口が減りつつあるなか、獅子舞や太鼓と、協力し合って祭りを盛り上げました。

自分たちで育てた稲を収穫！



▲10月4日、六瀬中学校1年生が、稲刈りをしました。土を慣らすところから、田植え、稲刈りと、全ての行程を体験し、米作りの行程だけでなくその活動意義なども学びました。天然のアユの放流調査なども行う同校は、本年度の「グリーンスクール」表彰校に選ばれ、10月5日には、県知事より表彰を受けました。

ハイテックロボットつくりました！



▲10月15日、中央公民館で「ライトレースロボットを作ろう」を実施し、町内外から7人の児童生徒が参加しました。3Dレーザを使った地形の測定の実演や実際に使われているロボットの見学・操作体験後、黒線に沿って走るロボットの製作に取り掛かりました。参加者は、「製作は難しかったけど、うまく動いたのでやりがいがありました。銀山も興味を持ちました」と話しました。

